

さいたま緑のトラスト協会 0号地・緑のサポート隊、第17回定例会議事録

令和5(2023)年12月6日 <出席者 人>

一 事務局から・活動実績

- ① 11月19日、14号地、山下ゴム保全活動、参加者5人
- ② 11月19日、8号地、パシフィックシステム保全活動、参加者23人
- ③ 11月21日、3号地、川越北公民館保全活動と自然観察、参加者8人
- ④ 11月26日、7号地(さいたま市の綾瀬川・深作川周辺)綾瀬川冬鳥観察、16人
- ⑤ 11月29日、0号地、大人のクラフト体験教室 竹細工・正月飾り、10人
- ⑥ 12月2日、1号地竹の伐採、46人、8号地伊藤園保全活動、20人
- ⑦ 12月9日、Xmas リース講座(北本)
- ⑧ 12月17日、13号地 KDDI 保全活動、ミニ門松作り(サンアメニティ北本)

・活動スケジュール

- ① 12月23日、ミニ門松作り(北本学習センター)
- ② 12月25日、写真・動画コンクール審査会(表彰式はR6年2月7日)
- ③ 1月20日、黒浜沼の野鳥観察(11号地)
- ④ 2月7日、写真動画コンクール表彰式 大宮第二公園

- 一 来年のさいたま市みどりの祭典は10月20日(日)実施が決定。
- 一 北本学習センターでのXmas リース講座は、13人の参加で例年通り好評だった。しかしセンターの立地が大きな団地の中ということもあって、参加者がトラスト運動への関心も薄く、およそ10年の実績でも入会者がいない。従って今回で北本への出張講座は終了することになった。
- 一 0号地の活動費で簡易型のレーザープリンター購入⇒6日の例会で加藤さんから概略の説明、実演。入門用の低価格製品にもかかわらずどんぐり坊やレベルの図案なら十分な焼き印同様のプリントができるため、さっそく活用したい。
- 一 写真動画コンクールの副賞について、竹あかりが候補であったが、大野さんから提案があった、竹片を加工しスマホ立てになるキーホルダーを制作することに決定。レーザープリンターも活用していく。
- 一 懸案の杉玉作りについては、三好さん中心に試作など続けてきたが、若い杉の葉が必要で入手困難なのが実情。当面制作を見送りする。深石さんがヒノキで作ったソフトボール大の杉玉はかわいいと好評。しかし、やはり杉が適しているため、材料さえ入手できれば杉玉をクラフト制作のバリエーションに加えていく。
- 一 忘年会を12月6日の例会後に実施。会費1,000円、茂木さん含め 人参加。

以上、12月20日配布

さいたま緑のトラスト協会

0号地・緑のサポート隊、第18回定例会議事

令和5（2023）年12月20日 <出席者 人>

一 事務局から

一 11月15日 クラフト教室（Xmas リース）、反省など

一 本日の作業

写真・動画コンクール副賞の制作（準備）スタート。

- 1, 標準的な大きさとして幅20～30mm、長さ60～70mmといった寸法出し⇒済
- 2, 竹のつや出しや製品の上質化のため、バーナーで表面を焼く⇒済・加倉井氏に処理していただいた。
- 3, 今日の作業として、切り出しとキーホルダー用の穴開け、50個分。他

◎ 作業後片付けと掃除

※ 次回定例会＝年明け1月の例会は10日と17日

☆ 皆さん一年間お疲れ様でした。来年も元気に活動して参りましょう。
良いお年をお迎えください。

以上